



杉本みゆき 《夢幻の宵》アクリル・画布 145.5 × 145.5cm 2026年

萬鉄五郎記念美術館企画展覧会

杉本みゆき展

無限の空間、夢幻の色彩—

[会期] 2026年 2月21日 [土]—4月12日 [日]

[開館時間] 午前8時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）[休館日] 月曜日（月曜が祝日の場合はその翌日に休館）

* 2026年4月1日より、開館時間は「午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）」となります。

[入館料] 一般 400 (350) 円／高校・学生 250 (200) 円／小学・中学生 150 (100) 円 * () 内は20名以上の団体料金

[主催/会場] 萬鉄五郎記念美術館及び八丁土蔵ギャラリー

〒028-0114 岩手県花巻市東和町土沢5区135番地 / TEL.0198-42-4402 FAX.0198-42-4405

<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunksports/bunka/1019887/yorozutetsugoro/1002101.html>



萬鉄五郎記念美術館

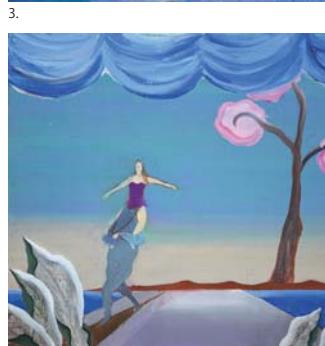
杉本みゆき展

無限の空間、夢幻の色彩—

盛岡在住の杉本みゆきは、今まで盛岡・東京を中心に発表を続けてきました。初期は、夢の世界を描いたような不思議な具象から出発し、1985年頃を境に青や水色、ピンクといった淡い色彩を用いた抽象作品へと移行していきます。アクリル絵の具や岩絵の具の素材を効果的に用い、大胆な筆遣いと色面構成で独自の心象へと昇華させた杉本の作品は、見る者に快い感懷をもたらし、多くの人を魅了してきました。

県内では、1987年に岩手県優秀美術選奨、翌年に小泉賞を受賞するなど早くから才能が認められ、ジャパンインパクトアートナウ（1988、韓国美術館）、VOCA展（1995、上野の森美術館）、東北現代作家選集'98part III（1998、リアスアーク美術館）、杉本みゆき展・色彩のハーモニー（2004、石神の丘美術館）、杉本みゆき—移ろいゆく景色の中で（2023、岩手県立美術館）など、国内外の美術館で確かな評価を獲得しています。当館では、「シリーズIV 岩手の現代作家 栗木映・杉本みゆき展」（1998）、「iwaて コンテンポラリー アート 杉本みゆき展」（2014）を開催し、彼女の新作を紹介しました。

本展では、卒業制作を含む最初期の半具象にはじまり、近作、最新作の抽象に至るまで、約130点余りの作品を一堂に展示し杉本の画業を通観するとともに、人々を惹きつけて止まないその表現の魅力に迫ります。



1.《月ときのうをかさねて》アクリル・画布 145.5×145.5cm 2026年

2.《白い街》アクリル・岩絵具・箔・画布 145.5×145.5cm 2014年

3.《帰郷》アクリル・画布 72.7×72.7cm 2024年

4.《ガランスの果て》油彩・画布 50.5×72.7cm 2012年

5.《水の四月》アクリル・岩絵具・箔・コント・画布 194.0×194.0cm 1994年

6.《ピンクシャワー》アクリル・コント・画布 91.0×91.0cm 1994年

7.《月の綱渡り》アクリル・画布 38.0×45.5cm 1983年

8.《秋の約束》アクリル・画布 91.0×116.6cm 1984年

9.《埠頭を渡る風》油彩・画布 130.3×162.0cm 1983年

10.《ミルキィへの序》油彩・画布 145.5×112.2cm 1974-75年

〈関連事業〉

オープニングセレモニー & 杉本みゆきギャラリートーク

2026年2月21日（土）14:00～ 会場：萬鉄五郎記念美術館

ひらやまよりこ「アルパ〈南米の小型ハーブ〉コンサート」

2026年3月15日（日）14:00～ 会場：萬鉄五郎記念美術館

事前申込不要（参加ご希望の方は当日直接美術館までお越しください）